

Ⅱ 花き(切花)情報

8月(中旬)までの経過

7月下旬、8月上旬は入荷量が前年をやや上回り、7月下旬の相場は前年並みであった一方、8月上旬は盆需要が高く、相場は前年をかなり上回った。8月中旬は台風15号、令和8年8月千葉豪雨等の天候不順により入荷量が前年を大幅に下回り、盆も終わり、弱保合となり、相場は前年を大幅に下回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経 過
入荷量	7月下旬、8月上旬は前年をやや上回ったが、8月中旬は11日に台風15号、13日「令和8年8月千葉豪雨」が発生し、天候が不順であったため、大幅に下回った。
相場	7月下旬は前年並みであったが、8月上旬は盆需要があったため、前年をかなり上回った。8月中旬の入荷量が前年を大幅に下回ったが、盆が終わり、弱保合となり、相場も前年を大幅に下回った。
動向	8月上旬の入荷量は前年に比べやや多かったものの、8月盆商材の納品のピークは7月末頃から前倒し傾向にあったことから、それを上回る需要があり、8月上旬は高い相場となった。ただ中旬以降は盆が終わり、朝夕が涼しくなったこともあり、ヒマワリ等の夏商材の販売が苦戦していた。

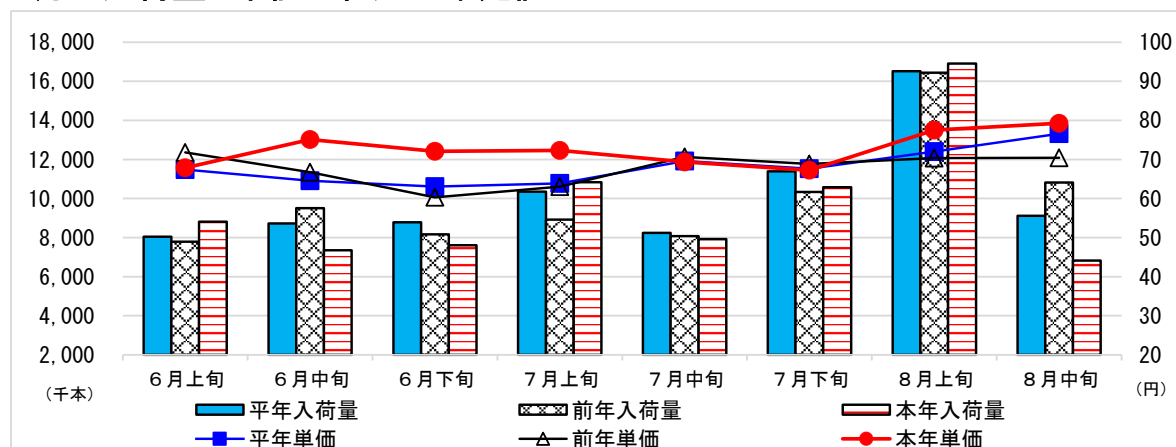
品目別経過

品目	経 過
輪ギク	8月3日から8月盆向けの納品が始まったが、7月下旬からの在庫もあり、動きはかなり鈍いスタートとなった。しかし、5日以降は入荷量が減少したため、注文品中心の納品となった。中旬以降の入荷は昨年並みとなった。
コギク	8月は各産地で前進傾向の出荷となり、前半は数量がまとまったが、後半は少なめの入荷となった。販売面では8月盆需要により引き合いが強く、活発な取引となった。
カーネーション	国産は一部で8月盆向けの作付けがあり、上旬に数量がまとまった。暑さの影響により、産地による品質格差が表れた。

9月の見通し

品目	見 通 し
SPキク	今後の生育状況によるが、やや前進傾向にあるため、お盆時期と同様の入荷推移となる可能性あり。
ケイトウ	入荷量はやや少なめで推移し、相場は例年並みで推移すると見込まれる。
ガーベラ	新植株と据え置き株の生育は下旬にかけて回復し、出荷量は増加する見込み。天候の影響はあるものの、品質や色のは徐々に品種本来の状態へ戻り、トップシーズンに向かう見通し。

8月の入荷量と単価の経過<確定値>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均